

個人投資家の皆様へ 三井物産会社説明会



MITSUI & CO.

2020年12月
三井物産株式会社 IR部
証券コード:8031

目次

1. 会社概要

2. 中期経営計画2023

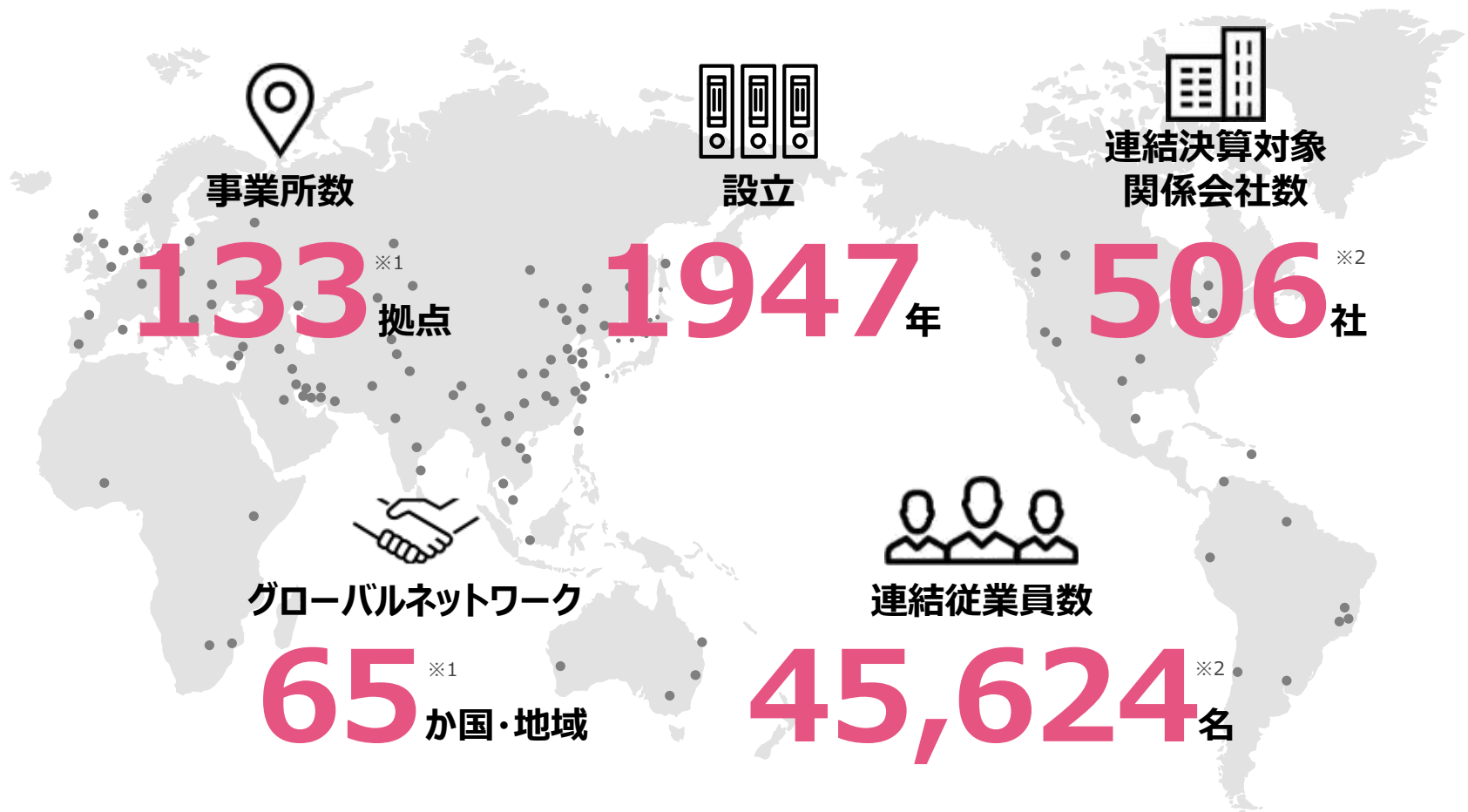
3. プロ人材

4. 株主還元

5. 当地での取り組み

1. 会社概要

数字で見る三井物産



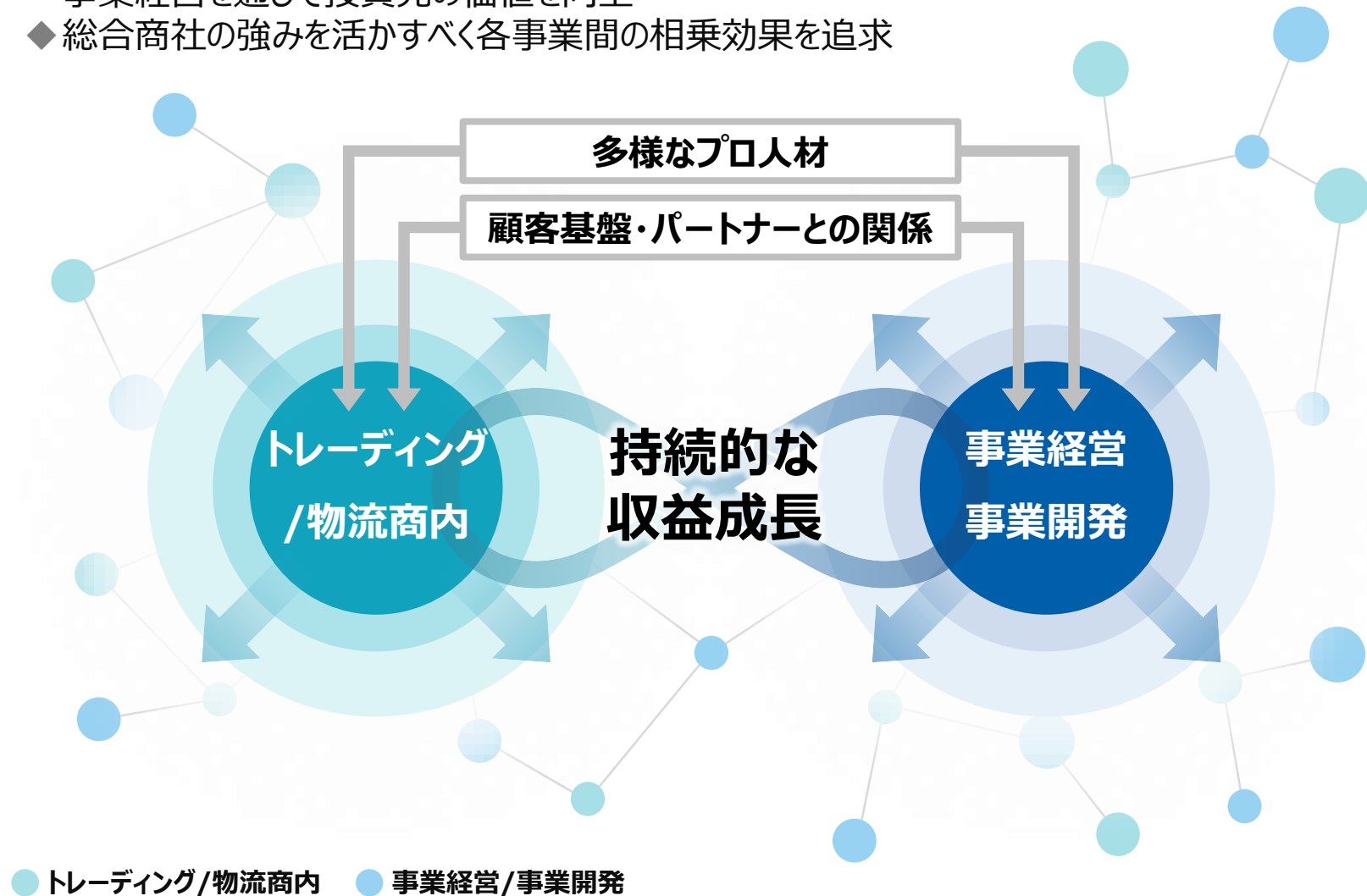
事業分野

- ◆ 7セグメントから構成
- ◆ 金属資源、エネルギー、機械・インフラ、化学品を基盤事業に「強いものをより強くする」戦略を推進



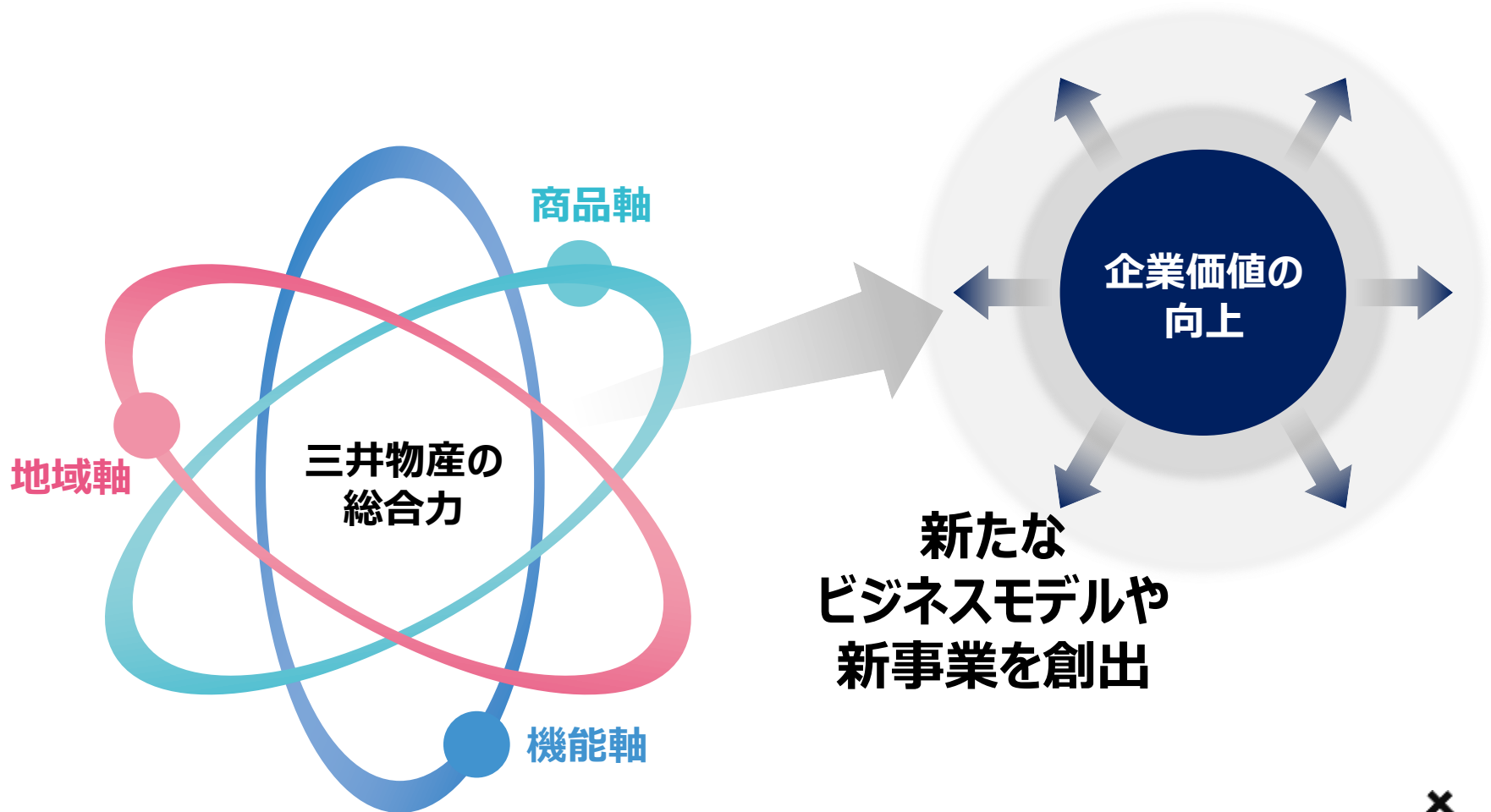
ビジネスモデル

- ◆ 歴史的に強みがあるトレーディング/物流商内で培った顧客基盤や業界での知見を基に事業投資へ。
事業経営を通じて投資先の価値を向上
- ◆ 総合商社の強みを活かすべく各事業間の相乗効果を追求



三井物産の総合力

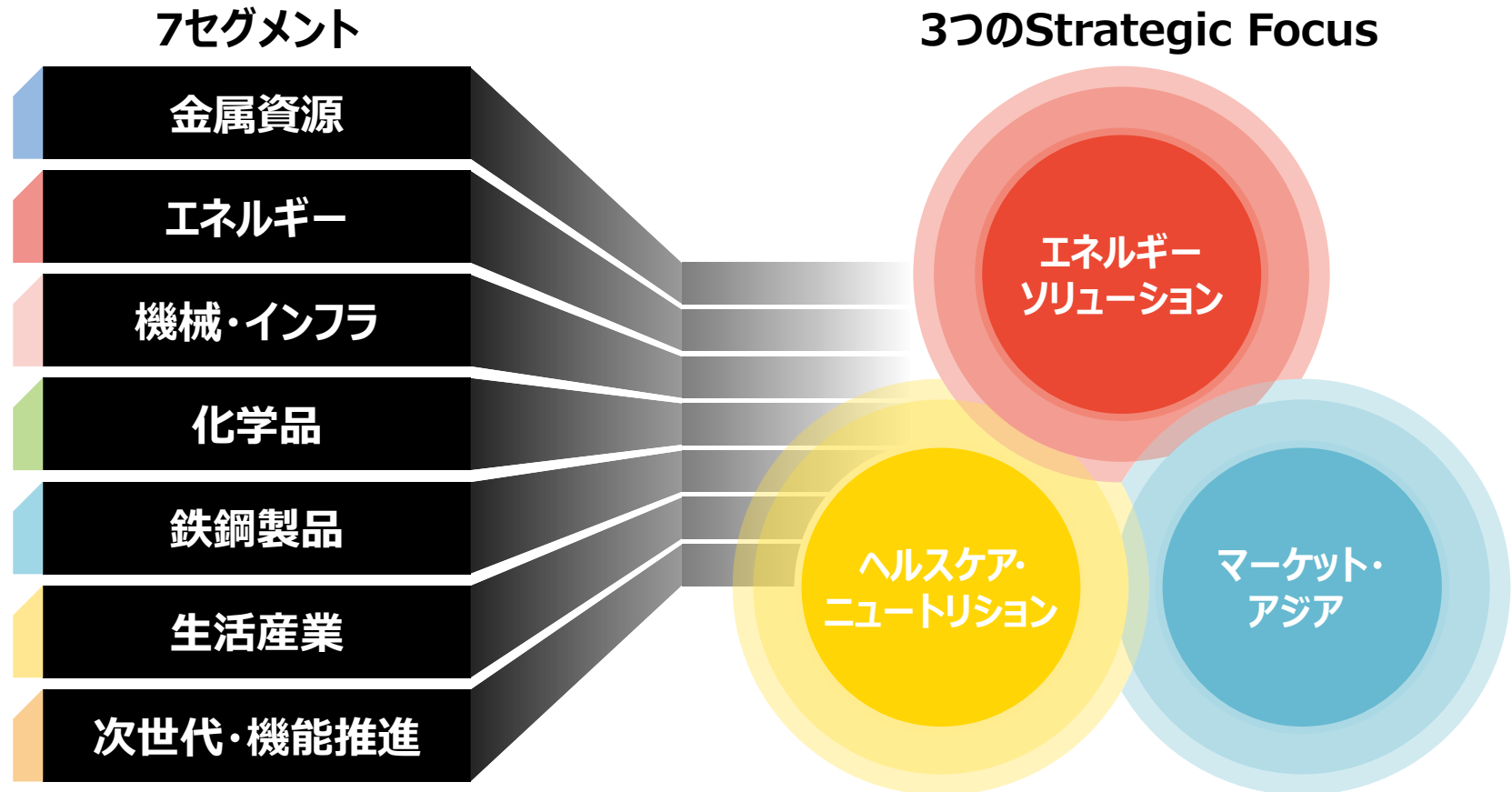
◆ 商品軸や地域軸に、マーケティング・ロジスティクス・DXなどの機能軸をかけあわせて事業を創出



2. 中期経営計画2023

Strategic Focus（戦略的注力領域）

- ◆ 従来からの7セグメントを軸とした戦略に加え、全社結集して注力する領域をStrategic Focusと特定
- ◆ 総合力を発揮し、事業と価値の創出を狙う



Strategic Focus エネルギーソリューション

- ◆ 気候変動問題への関心の高まり、再生可能エネルギーの普及、よりクリーンな燃料へのシフト
- ◆ 商社として初めて2050年のNet-Zero Emissions（カーボンニュートラル）を目標に掲げ、成長するグリーンエネルギー領域での事業拡大を全社的に推進

エネルギー市場の動向



注力分野

- ◆ 再生可能エネルギー、蓄電池
- ◆ 次世代バイオ燃料
バイオエタノール、石油代替ジェット燃料
- ◆ 水素
- ◆ スマートシティ、カーボンマネジメント

エネルギーソリューション取り組み事例：次世代バイオ燃料

- ◆ 世界唯一の発酵技術を礎に、環境に優しい燃料を生産
- ◆ 排ガスから次世代エタノール（自動車向け燃料用途）を生産、石油代替ジェット燃料への活用も視野

中国エタノール製造工場



新技術を開発・商業化 ► グローバルに事業展開

Strategic Focus ヘルスケア・ニュートリション

- ◆ アジアにおける高成長とデータ活用の加速
- ◆ IHHを中心に、収益基盤の拡大と将来へ向けた成長戦略を推進

ヘルスケア市場の動向

社会課題

 人口増加・
高齢化

 医療費
高騰

技術進歩

 モバイルの
普及

 ビッグデータ・
AI等

ヘルスケア・データがもたらす価値

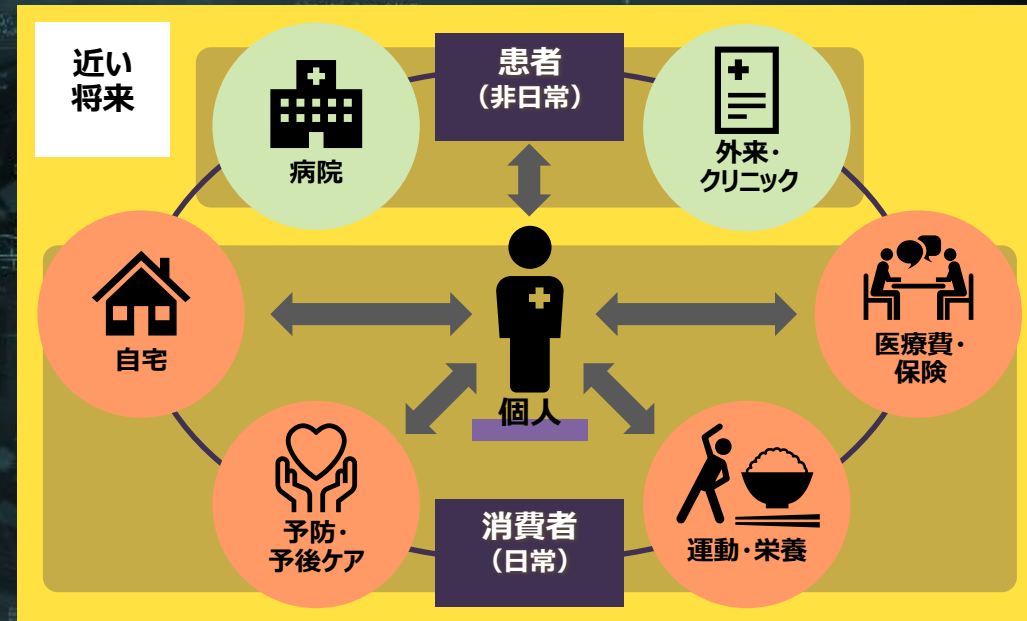
 医療の質
向上

 医療アクセス
向上

 医療コスト
抑制

当社が仕掛ける医療パラダイムシフト

◆「治療中心」から「予防中心」、「病院中心」から「個人中心」とした仕組み作りを主導



デジタル戦略

- ◆ 当社の幅広い事業の現場からのデータを収集・分析し、各事業のオペレーションを高度化



取り組み事例

AI（人工知能）を用いたFPSO事業の良質化

- ◆ 操業データを集積し、AI等を用いた安定操業に活用する取り組みを推進
- ◆ デジタル戦略導入直後から稼働停止時間を約65%削減することに成功
- ◆ 世界経済フォーラムより本年1月に「第4次産業革命をリードする世界で最も先進的な工場」に認定

*Floating Production, Storage & Offloading system : 浮体式海洋石油・ガス生産 貯蔵積出設備



新型コロナウイルスによる影響

◆引き続きダメージコントロールの徹底と、コロナ後の事業環境と社会構造に則した事業の拡大に尽力

当期利益への影響

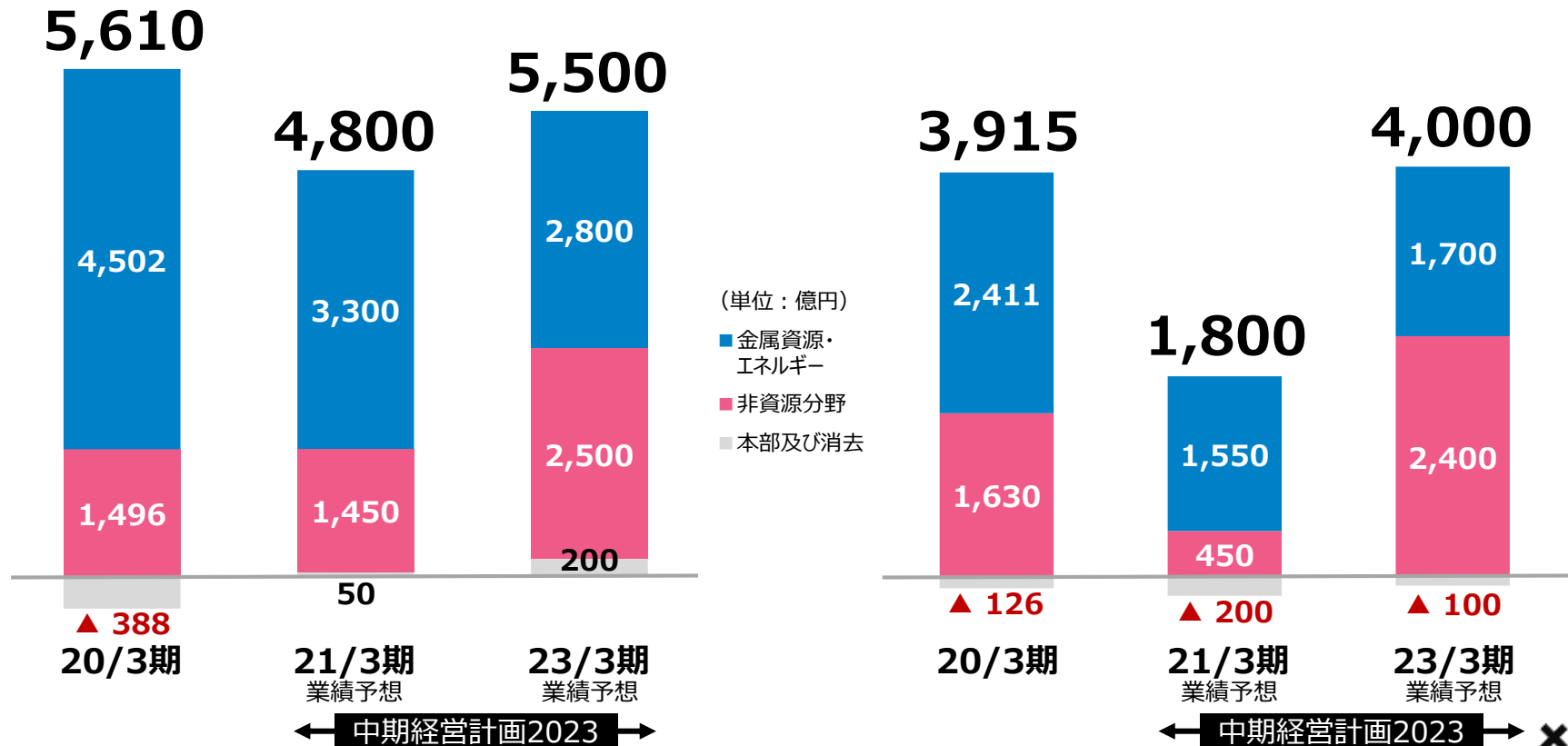
セグメント	マイナス要因	プラス要因
金属資源	石炭価格低迷	鉄鉱石価格高止まり
エネルギー	油価低迷 輸送・産業用燃料の需要減	
機械・インフラ	自動車関連・鉄道・航空機の 需要減	
化学品	自動車素材の需要減	包装材等の内食関連素材堅調
鉄鋼製品	自動車素材の需要減	
生活産業	病院の稼働率低下 ファッション・イベント需要減	巣籠り需要（内食取り込み）
次世代・機能推進	電子材料関連の需要減	巣籠り需要（テレビショッピング事業好調）

定量目標

- ◆ 21/3期は、コロナ禍の影響を受け、税後利益は1,800億円を予想。一方、基礎営業キャッシュ・フローは着実なキャッシュ創出力を背景に4,800億円を予想
- ◆ 23/3期目標は基礎営業キャッシュ・フロー5,500億円、当期利益4,000億円、ROE10%

基礎営業キャッシュ・フロー※

当期利益



※ 当社の定量目標指標で、営業活動に係るキャッシュ・フローから運転資本の増減に係るキャッシュ・フローを除いたもの
20/3期の基礎営業キャッシュ・フローは、リース負債の返済による支出額(絶対値)を減算した金額に修正済み

3. プロ人材

多様なプロ人材

- ◆ 当社が誇る多様なプロ人材が総合力とネットワークを駆使し、パートナー・取引先・地域社会と共に、社会や産業が直面する課題の解決に資する事業を創出



映像 「プロ人材」

「種子事業の取り組み」

坂本 龍太

日本の種を
世界の野菜生産・販売市場へ

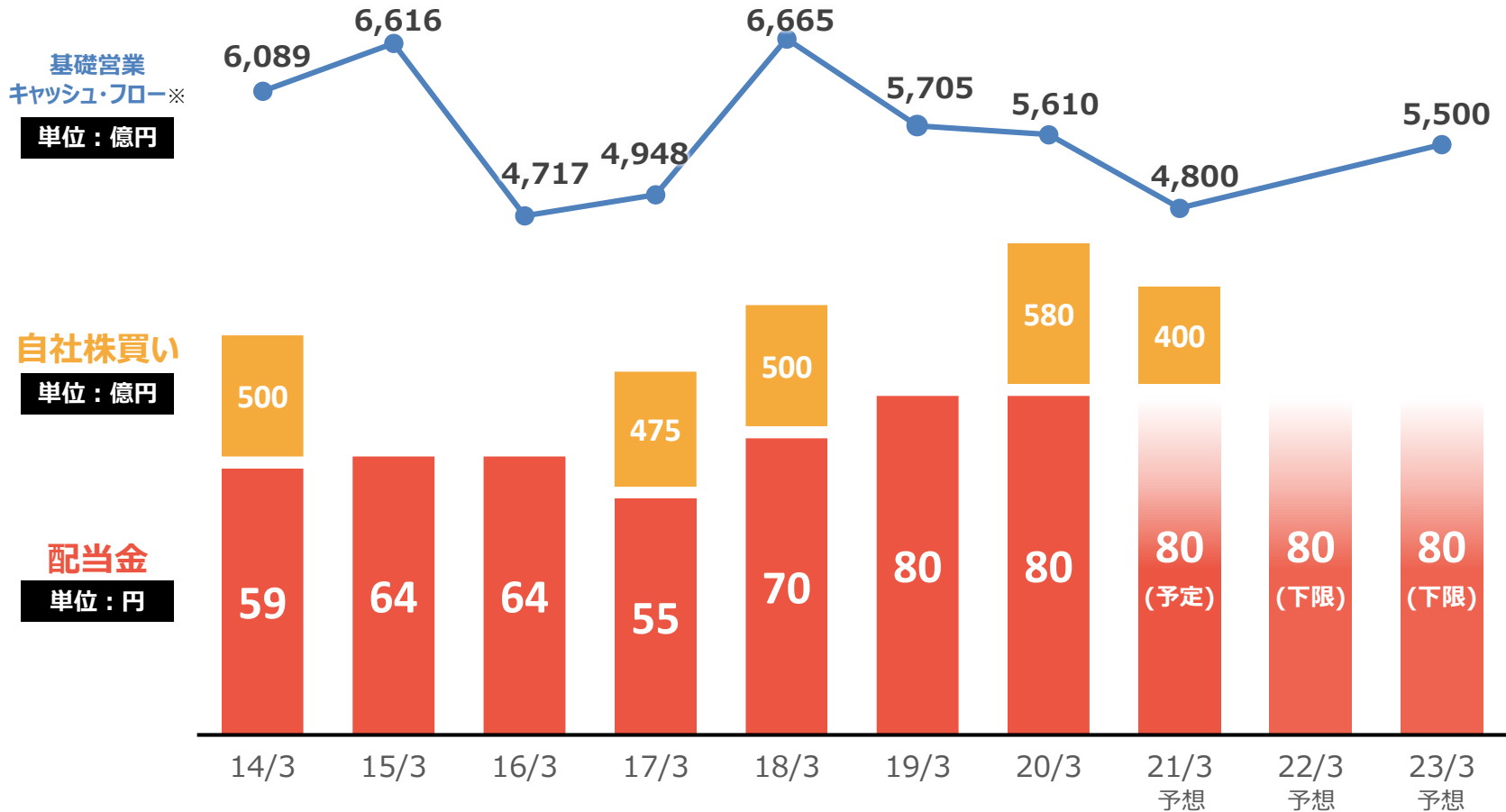


太田 純平

4. 株主還元

株主還元方針

◆ 本中経期間中は、一株あたり80円を年間配当額の下限に設定。追加還元は機動的に検討



※ 当社の定量目標指標で、営業活動に係るキャッシュ・フローから運転資本の増減に係るキャッシュ・フローを除いたもの
20/3期の基礎営業キャッシュ・フローは、リース負債の返済による支出額(絶対値)を減算した金額に修正済み

挑戦と創造のDNA

眼前の利に迷い、
永遠の利を忘れるごときことなく、
遠大な希望を抱かれること望む。

旧三井物産 初代社長 益田孝

志を受け継ぎ、 価値創造に挑み続ける

人が仕事をつくり、仕事人が人を磨く。

三井物産 元会長 橋本榮一

三井物産の社員は
高い使命感のもとに常に勇敢であれ。

三井物産 元会長 水上達三



経営理念

Mission

世界中の未来をつくる

大切な地球と人びとの、豊かで夢あふれる明日を実現します。

Vision

360° business innovators

一人ひとりの「挑戦と創造」で事業を生み育て、社会課題を解決し、成長を続ける企業グループ。

Values

「挑戦と創造」を支える価値観

変革を行動で

私たちは、自ら動き、自ら挑み、
常に変化を生む主体であり続けます。

多様性を力に

私たちは、自由闊達な場を築き、
互いの力を掛け合わせ最高の成果を生みます。

個から成長を

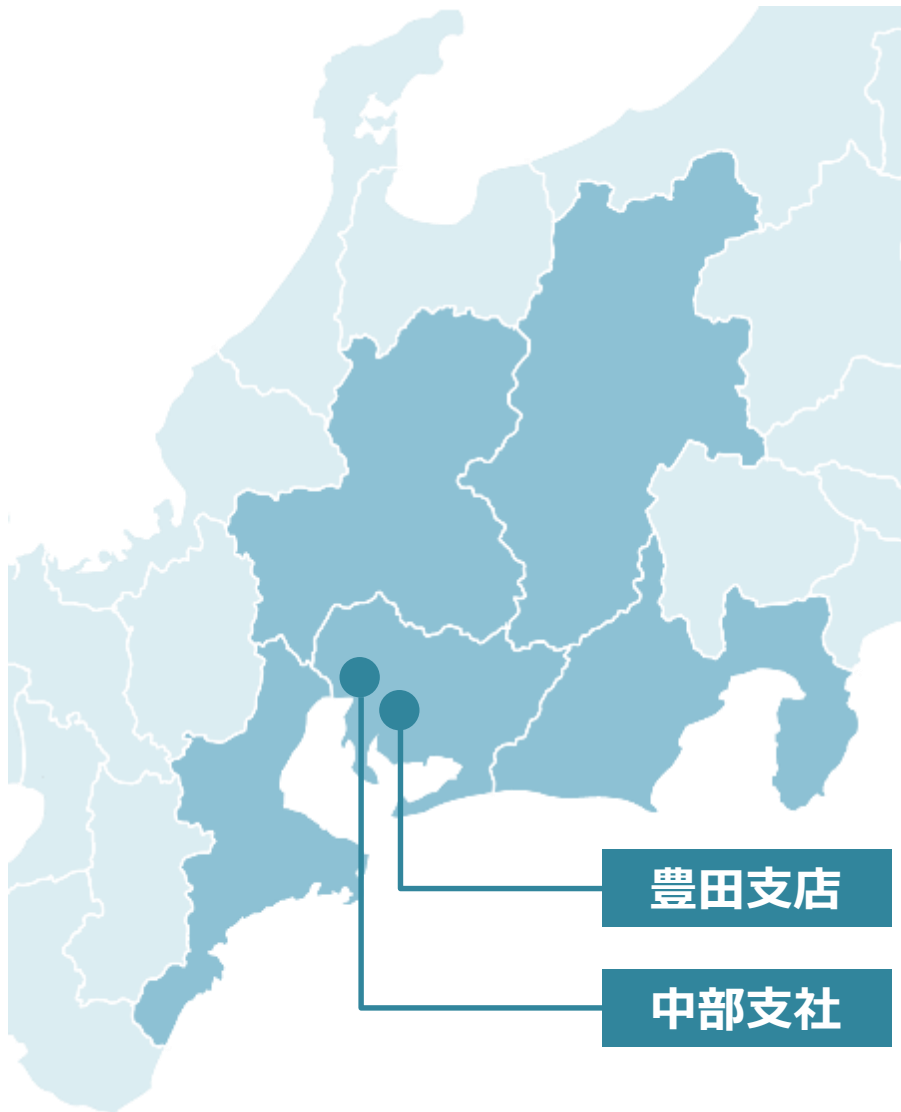
私たちは、常にプロとして自己を高め続け、
個の成長を全体の成長につなげます。

真摯に誠実に

私たちは、高い志とフェアで謙虚な心を持ち、
未来に対して誇れる仕事をします。

5. 当地での取り組み

中部支社概要



管轄地域

愛知、岐阜、三重、静岡、長野

人員

三井物産単体 90名

中部地域関係会社人員 2,765名

管轄地域に営業拠点を置く 関係会社

43社

既存事業の強化



新事業への挑戦

サービス事業

スポーツ・エンタテインメント
支援ビジネス



中日ドラゴンズ シーホース三河

スポーツ・エンタテインメント
支援ビジネス

うれし野アグリ

最先端の植物工場での
ミニトマト生産・販売



先端農業

うれし野アグリ



海外市場への挑戦

壱番屋



壱番屋

インド進出

【メール配信サービスご登録のご案内】

ご登録頂くと、当社ウェブサイトに掲載される当社の重要な案件内容を、公表と同時に自動でメール受信できます。

携帯・PCアドレスの登録が可能です。

お手持ちの携帯やタブレットなどで下記のバーコードを読み取って頂くか、当社ウェブサイトの「IRメール配信サービス登録画面」にてご登録下さい。



IRメール配信サービス登録画面

<https://www.mitsui.com/jp/ja/ir/support/mail/index.html>

当社ウェブサイト 投資家情報ページ

<https://www.mitsui.com/jp/ja/ir/index.html>

【ご注意】

本資料にて提供されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手している情報に基くもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想の達成、及び将来の業績を保証するものではありません。また、これらの情報が、今後予告なしに変更されることがあります。従いまして、本資料およびこれらの情報の利用は、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行なって下さいますようお願いいたします。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

以下の事象が、当社及び連結子会社の事業、経営成績及び財政状態に悪影響を及ぼす可能性があります。

<20年3月期末に有価証券報告書で特定した重要なリスク>

- 新型コロナウイルス感染拡大によるリスク
- 事業投資リスク
- カントリーリスク
- 気候変動に関するリスク
- 商品価格リスク
- 為替リスク
- 保有上場株式の株価リスク
- 与信リスク
- 資金調達に関するリスク
- オペレーショナルリスク
- 役職員による法令及び社内規定の遵守違反に関するリスク
- 情報システム及び情報セキュリティに関するリスク
- 自然災害、テロ・暴動遭遇等によるリスク

<それ以外の主要なリスク>

- 当社固有のリスクではない、一般的なリスク
 - 世界マクロ経済環境の変化によるリスク
 - 法的規制に関するリスク
 - 競合リスク
 - 人的資源の制約に関するリスク
- リスクとして認識はしているが、影響に重要性がないもの
 - 金利リスク
 - 確定給付費用及び確定給付債務に関するリスク
- IFRSに基づく連結財務諸表の作成にあたっての前提条件の置き方による影響

なお、旧三井物産と現在の三井物産には法的継続性はなく、全く別個の企業体です。

360° business innovation.



MITSUI & CO.